

株式会社グローバル総合研究所

所在地

名古屋市千種区内山3-10-17

事業内容

介護施設の運営



雇用状況

従業員数：1,277名
うち障害者：26名

身体	知的	精神
11名	4名	11名

(令和6年6月1日現在)



障害者の担当業務

清掃（フロア、トイレ、浴室、休憩室などの清掃、洗濯物やゴミなどの回収、居室のベッドメイキング等）
介護補助（お話相手やフロアでの見守り等）



業務切り出しの工夫、苦勞したこと

1から10までの業務工程をすべて1人が担当するのではなく、例えば、1から3までの業務工程を担当する人、4から10までの業務工程を担当する人など、能力に応じて業務工程を分けています。
その結果、業務の工程で担当を分けた事により、それぞれの担当の仕事の質やパフォーマンスが向上しました。
始めは、人事の立場として現場の業務を切り出すという事が上手く理解できず、また人事と現場が離れているため、現場に“どう説明したら伝わるのか”が苦勞しました。
現在では複数の現場に、上記の成功事例を具体的に伝える事で、それぞれの現場で自然と業務の切り出しができるようになりました。



社内の理解を得るための取り組み

採用する時や採用した後も、現場だけにフォローをお願いするのではなく、本社（人事）からも積極的に足を運ぶ事で、会社全体で採用しフォローできる仕組みを作りました。
はじめて障害者雇用をする現場の職員が、『どのように採用を進めていいのか』や『採用後どのようにフォローしていけばいいのか』など、皆同じように感じていると思いますので、ハローワーク等のセミナーで学んだ事を自社用の資料に作り替えて共有したり、他の施設で使用しているマニュアルやチェックシートを共有したり、今まで障害者雇用を進めてきた際の話をも具体的に話す事で、『自分たちも一緒に働ける』とポジティブなイメージとなるような工夫をしています。



支援機関との連携

施設見学・職場実習を実施し、支援機関のフォロー体制に合わせて定着面談を実施しています。
支援機関・現場担当者・本社担当者・ご本人で面談をし、円滑に情報共有ができる様、間に入るようにしています。
また、現場担当者には会社で解決する【仕事でのトラブル】と支援機関はご家庭で解決いただく【プライベートでのトラブル】の線引きの基準をつかんでもらえるよう、フォローをしています。
また、ご本人へのフォローとして、例えば、ご本人の様子が変わったときは、日報に記入してもらうなど、コミュニケーションが取りやすいように工夫しています。

